

学校だより

麦の穂



令和4年度7月号 6/24 発行
富士宮市立富士根南小学校
全校児童 1,026人(+3人)
電話番号 26-2522
ホームページアドレス



学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

2021年10月31日に取り付けた「学校ホームページ」のカウンターは、91000を超えています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の毎朝の検温、健康観察への御協力ありがとうございます。お陰をもちまして校内の状況は大変落ち着いた状況が続いております。こうした状況を受け、これまで制限していた異学年の交流や委員会活動等も少しずつ復活させ、学校らしさを取り戻しつつあります。保護者の皆様におかれましては引き続き、子供たちの放課後や休日の過ごし方につきまして、感染対策を継続するよう御指導願います。

また、梅雨入りし、湿度と気温の高い日が今後予想されます。マスクの脱着につきましては、先に配付いたしました通知を参考に、熱中症予防について、適切なお声掛け（登下校はマスクを外してよい。その際は、ソーシャルディスタンスを2m保ち、おしゃべりを控える。学校玄関での検温の際にマスクを着ける）をお願いします。一学期も残りわずかとなりました。子供たちの豊かな学びの実現のため、よろしくお願い申し上げます。

■「やり抜く力」を育てる ~卒業生1日先生より~ 校長 川口秀也

様々な分野の第一線で活躍されている本校の卒業生を講師に、キャリア教育の視点からこれまでの人生についてのお話を伺う「卒業生1日先生」を6月20日に実施しました。

今年は、日本を代表する「棒高跳び」の選手で、令和3年度の日本選手権で優勝、この時、5m70cmの日本歴代5位の記録を打ち立てた、竹川侘生選手（平成23年度卒業生）をお招きし、家業の製茶業（お茶農家の丸元産業）に従事しながら、日本新記録更新とパリ五輪への出場を目指す熱い思いを6年生に語っていただきました。



お話の中で、竹川選手が、大切にしている3つの言葉を紹介してくださいました。

- 塵(ちり)も積もれば山になること
- 1度決めたら、最後までやり抜くこと
- 努力は報われるとは限らないこと
(でも、そこで止めるか、先へ進むかは自分次第)

何かを成し遂げるには、自ら定めた目標に向けて、日々小さな努力を途切れることなく重ねることが大切であること、そして一度やると決めたら、あきらめず、投げ出さず、最後までやり抜く覚悟とそのため行動を自らに課することが重要であると教えてくれています。すばらしい記録を打ち立て、さらに高い目標に向かって日々自己統制しながら努力される竹川選手の言葉だからこそ、子供たちの心に響きます。

本校では、「自己統制しながら、やり抜く力」を子供たちに育てたい11の資質・能力の1つとしてその涵養に努めていますが、自らの意志に基づき、自らの行動を適切に判断しながら調整する力はそう簡単に身に付く力ではありません。学校では、日々の授業や家庭学習を通して、さらには、学級での係活動や委員活動を通して、①「結果よりも、頑張った過程を褒めること」、②「『頑張れば、できる!』という達成の喜びを実感させること」、③「失敗を防ぐよりも、「失敗から立ち上がる」ための支援をすることを大切にしながら、「やり抜く力」の育成につなげたいと考えます。家庭と学校が協働しながらの「(行動に対する)適切な価値付け」が、子供のよりよい成長を促進します。